

能役者の名品が語る、

歌舞伎座花籠講座
SEASON 2

師、先輩、名人の舞台を目で盗み、謡いこみ、舞いこみ、演じ上げてきた実演者だからこそ実感することがある。これまで多くの難曲・大曲と対峙してきた能役者、味方玄が選ぶ「これぞ名品」という一曲を、より深く、よりリアルに語ります。

第1回 「頼政」

YORIMASA

講師：味方 玄（観世流シテ方）

2022年5月17日（火）15：30 開始

歌舞伎座三階 花籠ホール

主催 / 一般社団法人伝統文化交流協会

共催 / 古典の日推進委員会・歌舞伎座サービス株式会社

特別協力 / ジャポニスム振興会



能の役者名品が語る

歌舞伎座花簞講座
SEASON2

第1回

「頼政」 よりまさ

十四世紀から途切れることなく継承され続けている舞台芸術としてユネスコ無形文化遺産第一号に指定される能楽（猿楽）は、日本ならではの神仏習合の信仰、もののあわれ、幽玄の美意識が凝縮された日本文化の根幹ともいえる芸能です。

京都を拠点として活動を広げる能楽師・味方玄氏による歌舞伎座花簞講座。今期は、演じ手目線で選んだ、味方氏セレクトによる名品の能、六作品を深掘りしていきます。

第一回は「頼政」。源氏に生まれながらも源平を渡り歩いた末、清盛に反旗を翻して臨んだ宇治川の合戦、そして扇の芝での最期…。能における合戦物の醍醐味、演者としての妙を存分に語り、語っていただきます。



みかたしずか
味方玄

観世流能役者。一九六六年、京都生まれ。能楽師味方健の長男。幼少より父に手ほどきを受け、一九八六年、故片山幽雪（人間国宝）に内弟子入門。幽雪（九世九郎右衛門）、十世九郎右衛門に師事。一九九一年、独立。二〇〇一年、「京都市芸術新人賞」受賞。二〇〇二年、KBS京都テレビにて能楽入門番組「能三昧」（全28回）を監修・出演。二〇〇三年、新作能「待月（つきまち）」の脚本を手がけ、シテを演じる。二〇〇四年「京都府文化賞奨励賞」受賞。二〇一一年、重要無形文化財（総合）認定。京都・東京における個人主催の会「テアトル・ノウ」を始め、数多くの演能と能楽の普及活動、企画・演出・プロデュースもこなし、国内外を問わず幅広く活動を続ける。著書『能へのいざない』（淡交社刊）

公式サイト <https://theatrenoh.com/>

2022年5月17日（火）15:30 開始（開場 15:00 / 終了 16:30 頃）

歌舞伎座三階 花簞ホール

参加費：一般 3,500 円 / 会員 2,500 円 / 青少年割引 1,000 円

※青少年割引の対象：満 12 歳～26 歳未満。当日、年齢を確認できる証明書（免許証、健康保険証、学生証など）をご持参ください。

お申込みは、E メールまたはホームページ「予約フォーム」より。

【公演名「能の名品 5/17」 / お名前 / 電話番号 / 申込人数】をお知らせください。

後日、代金振込についてのご案内メールをお送りします。

《参加申込み》[Tpac：伝統文化交流協会]

■E-mail：Tpacdentobunka@icloud.com

■HP：https://www.tpac.info ※「予約フォーム」よりお申込みください

◎その他お問合せ：070-1489-1767（留守番電話対応となります）



「能役者が語る、能の名品」

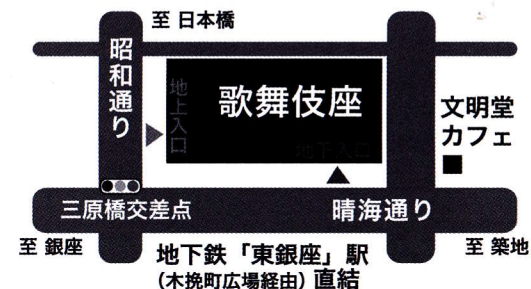
予告

第2回「邯鄲」

7月1日（金）15:30～

詳細が決まり次第HPやチラシで告知していきます。
随時ご確認ください。

<https://www.tpac.info>



※当日、歌舞伎座正面玄関からの入場はできません

【地下鉄から】

東銀座駅から直結、歌舞伎座B2「木挽町広場」内をセブンイレブンに向かって進み、突きあたり左手奥のエレベーターで3階へ。

【地上から】

昭和通り沿いの、歌舞伎座タワー「昭和通り口」（松石ビルの隣）を入りエレベーターで3階へ。

古典の日

平成24年9月施行「古典の日に関する法律」により毎年11月1日が「古典の日」と制定され、国民が古典に親しみ心のよりどころになる機運が醸成されることが期待されています。

新型コロナウイルス感染予防対策に関する注意事項です。必ずお読みください。

- 会場内ではマスクの着用をお願いいたします。また、大きな声での会話はお控えください。
- 必ず事前予約をお願いいたします。その際、お名前と緊急連絡先をうかがいます。（複数でお申込みの場合も個別にうかがいます）
- ご来場者全員に検温と手指の消毒を実施し、37.5度以上の発熱がみられる場合はご入場をお断りいたします。
- 今後のウイルス感染拡大の状況によっては、定員数の変動や、やむをえず中止とさせていただきます。

歌舞伎座花簞講座について

19世紀中頃からヨーロッパで起こった浮世絵などの日本文化ブームは、西洋の文化芸術に多大な影響を与えました。その魅力は物質的なものというより、むしろ精神にありました。日本の伝統芸能のシンボル・歌舞伎座の一角で開校した【歌舞伎座花簞講座】で、日本文化が伝えるその精神に触れてみてください。